

生分解プラスチック

生分解プラスチック

微生物と酵素の働きによって最終的に水と二酸化炭素に分解されるプラスチック。

PBAT(Poly Butylene Adipate-co-Terephthalate)

石油由来の生分解プラスチック。

主にコンパウンド向け。フィルム・シート用途。

JBPAポジティブリスト分類A(生分解性プラスチック)登録製品(PL#A54501)。

PBS(Poly Butylene Succinate)

石油由来の生分解プラスチック。

成形用途に合わせて様々な材料をラインナップ。

JBPAポジティブリスト分類A(生分解性プラスチック)登録製品(PL#A54502)。

■お問い合わせは下記までお願いします。

ミヤコ化学株式会社 産業資材部

東京：東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館 TEL:03-6685-0412

名古屋：愛知県名古屋市中区錦1-17-26 ラウンドテラス伏見 TEL:052-221-8231

大阪：大阪府大阪市中央区淡路町1-7-3 日土地堺筋ビル TEL:06-7711-7843

札幌：北海道札幌市中央区北1条東2-5-3 塚本ビル TEL:011-806-0385

URL: <http://www.miyakokagaku.co.jp/>

✉: sanshi-tokyo@miyakokagaku.co.jp

物性表

| 種類 | | PBAT | PBS | |
|------------------|-------------------|----------|--------------|-----------|
| 検査項目 | 単位 | TH801T | TH803S | 備考 |
| 密度 | g/cm ³ | 1.21 | 1.25 | ISO 1183 |
| MFR(190℃,2.16kg) | g/10min | 2.5~4.5 | 4~8 or 16~20 | ISO 1133 |
| 融点 | ℃ | 116~122 | 110~116 | ISO 11357 |
| ヒート軟化点 | ℃ | 80 | 90 | ISO 306 |
| 引張り強度 | Mpa | ≧25 | ≧40 | ISO527 |
| 破断伸度 | % | ≧400 | ≧350 | ISO527 |
| 水分値 | % | ≦0.06 | ≦0.06 | |
| 乾燥 | - | 80℃×2時間 | 80℃×2時間 | |
| 推奨成形温度 | - | 140~170℃ | 140~170℃ | |

※この物性値は規格値ではありません。数値、用途は保証するものではありませんので、参考値としてご使用ください。

製造元情報



新疆蓝山屯河化工股份有限公司
XINJIANG BLUE RIDGE TUNHE CHEMICAL INDUSTRY JOINT STOCK CO., LTD

XINJIANG BLUE RIDGE TUNHE
CHEMICAL INDUSTRY JOINT STOCK CO., LTD.

本社/工場所在地：新疆昌吉市(中華人民共和国)

従業員：約2,000名

生産能力：PBAT・PBS 7万トン/年

※2020年中に13万トン/年の増強へ



認証

JBPA(日本バイオプラスチック協会)

- ポジティブリスト分類A適合
PBAT TH801T PL#A54501
PBS TH803S PL#A54502

- シンボルマーク取得製品
PBAT TH801T 登録番号 1118
PBS TH803S 登録番号 1170



TÜV AUSTRIA OK COMPOST

- PBAT
OK COMPOST HOME(#TA8022004189)
OK COMPOST INDUSTRIAL(#TA8011501048)
- PBS
OK COMPOST INDUSTRIAL(#TA8011501049)



ご利用にあたって

- 当材料は石油由来の生分解プラスチックとなります。
- 分解速度については保証いたしかねます。お客様にてご評価をお願いします。